

徒然なる日記121020～テーマを 決めること～

E-book推進協会

テーマを決めること

徒然につづってきた日記。書き始めから1カ月が経った。徐々に読者、というか閲覧してくれる方が増えている。どれも1ページしかないからダウンロードしなくても閲覧だけで内容が見られる。のぞいてくれる人がいるというのはうれしいことだ。励みになる。一瞬ちら見しているだけかもしれないが。

ただ、「徒然なる日記」と検索してヒットする十数冊を見てもらえば分かるが、それぞれのタイトルになっているテーマに統一性はない。その日その日に自分が思いつくまま、徒然に設けたテーマだ。固定の読者の関心に応えるにはきわめて不親切な作品ばかりであることは、申し訳ない。この場を借りてお詫びしたい。

しかし、このスタイルは変えるつもりはない。結局、読者が手に取るかは縁だ。読んでくれる人はたまたまPCを立ち上げ、たまたま本を手にとってくれて少し、関心を引くタイトルだったという縁。古本屋でたまたま意中の本を安価で見つけられるのと似ている。

大事なはその縁が生まれるきっかけを作り出し続けることだと思う。作品を作り続け積み上げることで、新たな読者に会いたい。そして、読者には過去の作品にも手を伸ばしてもらいたい。

自分なりにはこの作業の継続には2つ意味がある。1つは、最初の9月20日の日記で書いたとおりだが、実験的な取り組みで、どのくらいの人に関心を持ってくれるかということ。もう1つはこの作品を通して、「夢」の実現に近づくこと。夢というのはまだ明かしていないが、日記を書く中で常に考えているのは、日々生きることの意味を、何かしら世の中に訴えて1日を終わりたいという思い。徒然な文章のチョイスの中にも、実はそうした思いをしのばせている。

今はそう考えながら執筆を続ける。執筆なんて大それたほどのもんでない、駄文ばかりだが。年内には推敲を重ね、練りに練った長編作品を出すつもりでいる。読者の方にはぜひ一読いただきたい。

今回は宣伝めいた内容になったが、不規則なテーマの中にも自分なりの一貫性があることを伝えなかった。あまり伝わってないかもしれないが。今後とも読んでいただけるよう、読みやすい、読んで何か1つでも「へえ」「ふうん」くらいに思ってもらえる内容になるよう、努めたい。

2012年10月20日記す